PH調整剤アップ®(上昇用)ダウン®(下降用)

●毒　性	アップ(上昇用)	劇　物	(販売にあたっては一般販売業の登録が必要です。)
	ダウン(下降用)	普 通 物	
●包　装	アップ(上昇用)	10ℓ バッグインボックス入り	
	ダウン(下降用)	10ℓ バッグインボックス入り	

水耕栽培、礫耕栽培、NFT、ロックウール栽培等では、培養液のpHを安定させることが、養液栽培を成功させるポイントの一つです。培養液のpHを安心して調整する為に開発されたのが、ＯＡＴアグリオのPH調整剤「アップ(上昇用)」「ダウン(下降用)」です。

[特　長]

1. 培養液のpHを安定させることにより、根からの養分吸収が良くなり、作物を健全にします。
2. PH調整剤は肥料成分を主体としています。
3. 「アップ」は苛性カリ、「ダウン」はりん酸をベースとし、養液栽培の場面で培養液に添加できます。
4. 水質によりpHが上昇したり、くん炭、ロックウール等からアルカリが溶出する場合は特に「ダウン」が有効です。
5. コック付きの10ℓ バックインボックス入りですので、取り扱いが便利です。

[使用方法]

PH調整剤ダウンの使い方

1. 培養液：pHが6.5以上になった場合培養液1トン当り、「ダウン(下降用)」を50㎖ 添加するとpHが約0.5～1.0程度低下します。
2. 濃厚原液：OATハウス1号の6.7～20倍原液(30kg／200～600ℓ)に対して「ダウン(下降用)」800～1500㎖を攪拌しながら徐々に加えてください。
3. ロックウールの前処理：OATハウス肥料の1/2標準濃度液(EC 1.2dS/m)1000ℓに対して「ダウン(下降用)」約300㎖(pH3前後)を攪拌しながら徐々に加え、ロックウールを数時間以上浸漬した後に鉢上げ、または定植してください。

PH調整剤アップの使い方

培養液：pHが5.0以下になった場合培養液1トン当り、「アップ(上昇用)」を50㎖ 添加するとpHが約0.5～1.0程度上昇します。

※「アップ(上昇用)」はOATハウス1号、OATハウス2号の濃厚原液には使用できないので注意してください。

[使用上の注意]

1. 使用量は水質、培養液濃度、生育時期等により数倍必要になる時もありますので、十分注意してください。
2. 原液を添加する時は、ゴム手袋・メガネなどを着用し、直接衣服や肌に付着しないようにしてください。
3. 石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用しないでください。
4. 空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。
5. 眼に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
6. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。

[貯蔵上の注意] （「アップ」のみ）

1. 保管は密栓して湿気を避けてください。PH 調整剤「アップ」は劇物なので鍵のかかる所に保管してください。
2. 幼児等の手の届くところに置かないでください。